

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	空間構造における計算機応用小委員会		主 査 名：元結正次郎 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森博司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	シェル・空間構造の設計・施工における計算機利用の実態を調査し整理することによって、関連分野の大学院生、技術者、研究者に最新情報として提供する。 ・初年度： 調査研究項目の整理と調査方法の検討 ・2年度： 委員による各関連研究の推進と情報交換 ・3年度： 項目別の整理と課題の抽出 ・4年度： HP 上での情報公開に向けた準備・検討		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	元結 正次郎(東京工業大学)、武藤 厚(名城大学)、萩原伸幸(大同大学)、大森博司(名古屋大学)、河端昌也(横浜国立大学)、西村 督(金沢工業大学)、福田 隆介(鹿島技術研究所)、本間俊雄(鹿児島大学)、松井徹哉(名城大学)、水谷太朗(大成建設)、向山洋一(巴コポレーション)、村田 賢(名城大学)、吉野達矢(太陽工業)、大塚貴弘(名城大学)、金子健作(東京工業大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2007 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. これまでのワークショップなどで出された計算機を利用する中で想定される問題点について整理した。 2. 既刊の「空間構造のための数値解析ガイドライン」に対する Q&A 集を整理し、次年度以降 HP 上で公開するための検討を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 運営委員会の他の小委員会とも関連する内容であるが、現在までのところ小委員会内部での調整に終わった。